の開発等に必要となる質

こと、

が求められます。

高い論文が45件以上ある

理審査委員会の認定を取 した。平成27年には、倫

属医師等が発表した質の あること、に加え、③所 実施した件数が80件以上

支援機能の強化を図りま

ることにより、

臨床研究

報告することで、病院長

研究実施管理委員会」に

ている臨床研究に係る情 が京大病院内で実施され

科に「臨床試験担当者」

芝蘭会会員の皆様に

(iACT) を創設す

臨床研究総合センタ

の活動内容を「特定臨床 会」を立ち上げ、各体制 定臨床研究実施管理委員 務を補佐するための「特 正な実施の管理・監督業 が行う特定臨床研究の適 ました。そして、病院長 確実に遂行する体制とし めの各々のミッションを を設置し、適正実施のた

また、他の病院と共同し

て実施した臨床研究の実

査分野におけるISO

15189取得・米国の

は簡単ではありません 全体を取りまとめること れぞれの業務は膨大で、 テムとなっています。そ 報を全て掌握出来るシス

委員会を設置、全ての検

特定認定再生医療等

(医師主導治験2件、

医療機器等及び医療技術

日本発の革新的医薬品、

臨床研究中核病院は

の臨床研究や医師主導治 推進するため、国際水準 の高い臨床研究や治験を 核病院」は本院を含めて

伴う臨床研究を主導的に を用いた侵襲及び介入を

11病院となります。

の時点で、わが国における なりました。 平成29年度 院」に承認されることと 療法上の臨床研究中核病

かつ医薬品・医療機器等 上、または、②1件以上 ①医師主導治験を4件以

医療開発管理部を統合 ー・治験管理センター・

医療法上の臨床研究中

言ではない状況となり、

病

導的に臨床研究の実施が

出来なくなると言っても過

ができ、今後は臨床研究 臨床研究中核病院の制度

中核病院でなければ、

主

床研究中核病院 4

成29年3月23日付で「医

究については、3年間で

ター・EBM研究センタ 25年には、探索医療セン

を構築しました。

なっており、例えば、研 にハードルが高いものと その承認要件は非常

点として立ち上げ、平成 ーショナルリサーチの拠

いりました。そして、

を目指して取り組んでま 上の臨床研究中核病院\_ 院が一丸となって「医療法

> 位置付けられています。 設備等を有するもの」と、 さわしい人員配置、構造

> > す。本院は、平成13年に 組みについて解説しま

> > > を行うための責任委員会

国内におけるトランスレ

り取り組み、定評のある

「探索医療センター」を

京都大学医学部附属病院

病院長

稲

垣

暢也

O UNIVA

行 般社団法人 芝蘭会 京都大学医学部同窓会 〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町 TEL 075-751-2713 FAX 075-752-4015

E-mail:info@shirankai.or.jp

4

患者安全と労務管理 佐々木和夫先生を偲ぶ

支部だより

人事異動・会員訃報

3

福井有公先生を偲ぶ 翠川修名誉教授を偲ぶ

② 佐野晴洋先生を偲ぶ

臨床研究法施行にあ

# 本院は「診療、 研究、

臨床応用は京大病院にと ますが、なかでも新しい 理念の実現を目指してい あると考えています。 医療に関する研究・開発・ 教育」に関するの三つの って極めて重要な使命で

そのような中で、わが

国では、医療法に基づく する研修を行う能力を備 能力、特定臨床研究に関 助言その他の援助を行う じ、必要な情報の提供、 の実施に関する相談に応 所に対し、特定臨床研究 能力、他の病院又は診療 の主導的な役割を果たす 特定臨床研究の実施

を実施する場合にあって と共同して特定臨床研究 力、他の病院又は診療所 研究に関する計画を立 病院として、特定臨床 験の中心的な役割を担う かかる病院としてふ 及び実施する能 外部者も受講可能となる または臨床研究30件 の臨床研究に対する取り 知財管理・患者相談それぞ 倫理審査・利益相反管理・ た実績(15件以上/年)、 上)、他の病院を支援し れの体制整備が必須です。 ち、適正実施・研究支援 が求められます。すなわ の八つの体制整備・確保 究を適正に実施するため 実績に加え、特定臨床研 求められます。それらの 研修の開催実績、なども データ管理・安全管理・ 次に本院のこれまで

ぞれが実効性のある活動 どの責任者を置き、それ や臨床研究総合センター 医療安全管理部長な 医の倫理委員会委員

進的な取り組みを行って する共同研究参加資格 公的研究費を資金源と いりました。 WAを取得、など先

ごとに研究担当副病院長 整備するために、各体制 た。前述の八つの体制を のためには、病院全体で が強く求められます。そ ることができるかどうか 取り組む必要がありまし ナンスをどれだけ効かせ えで、病院長によるガバ 来るためには、安全確保・ 組める体制を整備しまし 制は、大学本部との度重 た。また、患者さんが安 する利益相反管理に取り 大学全体の臨床研究に関 を設置し、病院主導での 「利益相反審査委員会」 全学機能委員会である なる調整の結果、病院に 例えば、利益相反管理体 心して臨床研究に参加出

そのため安全管理体制に 管理も極めて重要です。

他病院の支援も求められ

に設置される「認定臨床

難なものになると予想さ

病院での設置は極めて困

大学病院以外の一般

しい要件が求められてお

れています。先述のごと

中核病院は他機関・

や職員が献身的に活動し を設置し、そこでは教員 管理委員会」では事務局 ていただいています。 が、「特定臨床研究実施 各体制については、

年12月に学外の臨床研究 ます。本院では、平成29 援・教育も求められてい 他機関・他病院等への支 取り組んでいます。 臨床研究中核病院は

を整備し、本院で従前よ 全管理を所掌する委員会 おいては、臨床研究の安 講義形式とワークショップ で、引き続き他機関等へ を継続的に開催すること 今後もこのような研修会 大変好評を博しました。 形式の2部構成で実施し、 から30名に参加いただき、 た。東は静岡、西は熊本 修会を初めて開催しまし 担当者を対象とした研

臨床試験担当者会議を開 図っています。定期的に 床研究の管理能力向上を そこで、本院では各診療 図り、専門性のある、き 医療安全体制との連携を を配置し、診療科内の臨 要であると考えています。 く、実際に研究に携わる 支援する側だけではな 施するためには、管理・ め細やかな安全管理体制 研究者の教育も極めて重 質の高い臨床研究を実 臨床研究法が公布され、 ることとなります。 す責任と自覚が求められ 実施するために、ますま 対し責任を求めるものと 研究法は、研究実施者に ります。また、この臨床 みが求められるようにな なり、より厳密な取り組 今までとは異なり、法律 なりますと、臨床研究は、 ととなっています。そう この4月に施行されるこ なっており、臨床研究を により規制されることと

京大病院iPS細胞・再生医学研究会 たり、 専門家や、生命倫理ある 機関内外の医学・医療の **員会」については、同** 審査委員会」としての認 在の「医の倫理委員会」 なり、本院においても現 査を受けることが必要と 生物統計家など技術専門 などで構成され、加えて、 いは法律に関する専門家 な「認定臨床研究審査委 でいるところです。新た 定を受けるべく取り組ん が新たな「認定臨床研究 研究に特化した「認定臨 施するには、新たに臨床 床研究審査委員会」の審 今後臨床研究を実

報、などのトピックス)を 目指して研究者教育にも 研究の更なる質の向上を 室が連携し、本院の臨床 センターと臨床研究監査 行うなど、臨床研究総合 を題材にケーススタディを 共有したり、実際の事案 指針等の改正、新しい情 取り巻く環境の変化(法・ 催し、そこでは、研究を 員の配置を行うなど、

臨床研究を実施するう

考えています。 の支援も担っていきたいと 用いただき、本院の質の 会のネットワークをご活 ますので、是非とも芝蘭 よう、取り組んでまいり 芝蘭会会員の皆様にも積 を図っていく所存です。 極的にご利用いただける トラルIRB機能の強化 研究審査委員会」がセン ており、京大病院に新た

さて、平成29年4月に 思います。 覚を持ち、病院長ガバナ 核病院という責任感と自 です。 進めていただければ幸甚 だくことで、臨床研究を 高い倫理審査を利用いた 鞭撻のほどお願い申し上 も、多大なるご支援・ご おかれましては、今後と 究を推進していきたいと だからこそ出来る臨床研 ンスを効かせ、京大病院

# 出席者代表あいさつを行う

洛和会東寺南病院 齋藤信雄 名誉院長

秀

松田秀一教授のもと行われたパネルディスカッション

本院は、臨床研究

影し、Web 上 講演を動画撮 度に引き続 き、先生方の た。 変有意義なも にて公開して のとなりまし なお、昨年

おります。

掲載先は、京都大学 OCW (URL:http://ocw.kyoto-u.ac.jp/ja/ hospital) です。

# 医療用ロボットをテーマとした講演と 地域連携についてのディスカッション

第21回京大病院臨床懇話会

りました。同懇話会は、 から104名の参加があ

挨拶・講演がありました。 授の4名の新任教授から 美医療安全管理部長・教 川明孝眼科教授、松村由

病院臨床懇話会」が芝蘭 成29年度(第21回)京大

平成30年3月4日、「平

呼吸器内科長・教授、辻

科長・教授、平井豊博

会館で開催され、学内外

ŋ, と京大病院診療科長等と れている医師等の先生方 するため、地域で活躍さ 地域医療との連携を推進 からの情報提供の場とし の意見交換及び京大病院 て開催しているものであ

今回で21回目となり

科長・教授から「手術支 長のもと、小川修泌尿器

本バプテスト病院長の座 テーマに、尼川 隆一日 ノロジーの応用」を全体 京大病院―ロボットテク その後、「未来を拓く

援ロボット(ダヴィンチ)

を使った泌尿器科手術の

隆幸

ます。

ケアシステム洛和会東寺 の齋藤信雄洛和会ヘルス 長及び芝蘭会京都支部長 あと、溝脇尚志放射線治 当日は、稲垣暢也病院 病院名誉院長の挨拶の れ講演がありました。 CoN」についてそれぞ ら「ロボットテクノロジ 看護部管理室副部長か 脳神経外科助教から「H 現状と評価」、菊池 ら拓く未来」、山中寛惠 ALを用いた取り組みか ーで進化するケア~Sa

病院長・整形外科長・教 るパネルディスカッショ 業財団京都桂病院長によ 医療部准教授、若園吉裕 授の座長のもと、妹尾浩 社会福祉法人京都社会事 藤祥司地域ネットワーク 消化器内科長・教授、 中治療部)病院教授、近 井昌彦小児科(新生児集 続いて、松田秀一 河

京大病院診療科長と出席 れた懇親会においても、 に終了しました。 ンが行われ、盛況のうち また、引き続き開催さ

先生方との活 いただいた医療機関 の

若園

が行われ、大 発な意見交換

1949年京都大学

めた。この会に出席した

# ( 2

晴洋先生を偲ぶ

# 昭和32年卒

月10日に老衰で逝去されま う)先生は去る2017年6 た。享年91歳でした。 晴洋(さのせいよ

生まれになりました。 (現 紀の川市打田) でお に和歌山県那賀郡打田町 (大正15年) 2月10日 佐野先生は1926年 (当時京大医学部病理学

毒の指標である好塩基性 を研究され、天野重安先生 斑点赤血球の斑点の本態

鉛中毒を研究テーマに取 業ののち、西尾雅七先生 学校(大高)を経て京都 り上げられました。中 に入られました。当時社 学医学部公衆衛生学教室 会的にも関心が高かった が主宰されていた京都大 大学医学部医学科をご卒 地 そして旧制大阪高等 元の小学校と中学 池 田 正之 ン代謝異常についても研 るヘム代謝異常・ポルフィリ 成果を携えて1958年 究を進められ、その研究

研究所教授)の知遇を得助教授、のち京大ウイルス 話しになっていました。 られたことを後々までお また今一つの指標であ

年には乞われて英国 だったと伺っています 体が熱気あふれる雰囲気 その翌年の1960

究されており、研究所全

でノーベル章受賞者が研 た。当時この研究所の各階

刻を楽しまれました。

ドン名物のパブでの

のLondon 大学の

 $\mathcal{C}$ 

英国らしい雰囲気の写真 が残っています。

に楽しまれた、いかにも

クリスマスのお祝いを共 Rimington 研究室での

1960年代の後半、こ

先生の後を受けて教授 田は東北大学に移りまし まれました。 1年後に池 (公衆衛生学担当) に進 973年に西尾雅七

ませんでした。此の 年に1、2回程度しかお 目に掛かる機会があり められ社会医学領域の発 本衛生学会の幹事長を務 1979年から6年間日 たので、その後十数年は 間

た統率力を発揮されまし 社会医学の助教授・講師 よくまとめられて、優れ され、事実上のリーダーを の会(基礎助講会)を組織 様な中堅研究者の集団を 野は当然様々で個性も多 務められました。専門分

所 たとお喜びでしたが、

だったようです。

部長に就かれ、続いて ています。ご自身はクル 学の学長に就任されまし 県大津市瀬田にある滋賀 1987年に滋賀医科大 マの運転がお好きで滋賀 してご多忙だったと伺っ た。当時は全く日夜を通

られた余暇には島津製作 時間が取れるようになっ った後、やっとご自分の 学長を6年お務めにな (京都市三条西大路)

展に尽くされました。

医大から夜遅く一人で高 られることも度々のこと の南部にあるご自宅に帰 速道路を長駆して京都市

らに1985年に医学

羅星のように並ん 誌に掲載された論文が綺 界中で知られてい す。また藤原記念 → BBRC, BBA

たことをお楽し の好きな研究を再 の研究室に通われご自分 1開でき

> は 故 藤原元典先生 (京 ました。この記念財

大 医 衛生)がアリナミ

念財団の研究費交付事業

た。その成果により同記

に財源を確保されまし

は継続され、今なお後進

の育成に資しています。

このような洵に多方面

お引き受けになってい

方々の知恵を借りて見事

られていました。例えば にも強い意欲を持ち続け 佐野先生は後進 みでし の育成

武田薬品工業から受けら

ン発見・開発に関連して

手研究者との会合では 日本衛生学会の 録を拝見しますとJBC た。実際ご自身の く」ことを求めら 言葉の限りを尽くして BJ, JACS をはじ 「国際性の高い論文を書 対る若 しめとし 業績目 れまし

室、

および京大医学部若

生学・公衆衛生学関連教 衛生学会、京大医学部衛 れた寄付金を資金に日本

理事長を18年にわ

が財団の

でいま

、る学術

代が到来し、記念財団の

機とそれに続く低金利時 任中に全世界的な経済危 ています。佐野先生の在

の意を表するとともに心

一端を記し、改めて哀悼

ここに数々のご業績の

よりご冥福をお祈り申し

円)援助金を交付し続け

ました。

人30万円、以前は20万

勲・叙位をお受けになり

に際しては正四位の叙 等瑞宝章を、またご他界 て 2001年には勲二 にわたる功績が讃えられ

手研究者20名に毎年(1

など世

たって

広い佐野先生は多方面の

部加筆)

した。その折にも人脈の

72:192-3 より転載、一

(日本衛生学会誌2017;

面することが予測されま 活動も財政的な困難に直

上げます。

病棟、臨床研究棟の改築

動物センター、附属病院

病院長を支援した。 に、その時々の学部長、 館以外の全基礎研究棟、

学部の改築を進め、病理

るようにした。続いて医 務・教育を一箇所ででき

本館、解剖学講堂と図書

芝

2017年11月6日に心 気療養中のところ平成 蘭

翠川修名誉教授は病

医学部医学科を卒業。

958年京都大学医学

考委員に選任された。

織化学を受け継いで、

に膵島、前立腺、小腸、

定された。

一方で、先生は実験室

Xanthine oxidaseシ同

た。この標的タンパクは できるモデルに発展し

けられ、先生は同賞の選

から岡本耕造教授を支

岡本教授の金属の組

研究面では助教授時代

その後の再生過程を追跡 選択的な死滅を起こし、 パネート細胞の急速かつ クに不溶性塩を形成して 細胞内の亜鉛結合タンパ

のためシーボルト賞が設

で、日独学術交流の促進

医が育った。

剖検の検閲風景である。 理に着任直後にとられた

門下生からは多くの病理

会

昭和41年卒

日合

弘

シェール大統領の提

報

修名誉教授を偲ぶ

授の許に留学されまし 研究所のS. Granick 教 ク市にあるRockefeller

折は両先生お揃いでロン

中、佐野先生は基礎医学・

実践した。写真は京大病

投与すると腸管パネート

ロンドンに滞在され、時

保障制度の視察のために

ンパスで研究室の出入り か離れていない近衛町キャ

もままならない雰囲気の

から2年間米国ニューヨー

けになりました。丁度そ

期でした。騒然とした京

大本部からほんの少しし

の頃、西尾雅七先生も英

国の社会保障制度・医療

年間の共同研究にお出

か

Rimington 教授との1

とに1969年は佐野先

生にとっても波乱の多い時

# 門下生から多くの病理医

官、京都大学名誉教授。 留学中にドイツとの学

月25日に、翠川磐様、

座)。1989年に定年退 医学部教授(病理学第|講

先生は、1926年3

ず子様の長男として出生

の小文に記し、在りし日の

都大学における活動をこ

ン大学医学部に留学し 団奨学生としてミュン 1961年フンボルト財 部助教授、1959~

ドイツ連邦共和国功労賞

学と、亜鉛親和性試薬ジ 脳における亜鉛の組織化

会名誉会員、1991年に 1983年ドイツ病理学 これらの功績に対し、

先生を偲び、ご冥福を祈

県立医科大学教授を経て

した。また、2007年に瑞 勲一等功労十字章を受章

> による糖尿病の実験病理 チゾンやアロキサン誘発

タイプではなく、

弟子に

の執筆に集中するという で自ら手を動かし、論文

1962年1月岐阜

963年に京都大学

享年91歳。先生の略歴、京

不全のため逝去された。

である飯島宗一名大総 授を務められた学究であ 学(現ソウル)大学助教 長と従兄弟関係にあた 清陵高校)の卒業であ 校諏訪中学校(現諏訪 授の門下で、1927-病理学教室の林直助教 大学 (現名古屋大学) された。父君は愛知医科 るが、同校の4年先輩 る。先生は長野県の名門 1929年に京城帝国大 カデミー、国際細胞組織 れた元フンボルト留学生 献も顕著で京都で開催さ たフンボルト財団への貢 者との交流を深めた。ま 組織し特にドイツの研究 ムなど多くの国際会議を 会、日独がんシンポジウ 化学会、国際細胞生物学 べきと考え、 術文化交流を一層強化す 大会の実行委員長をつと 国際病理ア

総合研究所(京都山科) 吉田神楽岡町のコドモの 顧問などを務めた。 イエ幼稚園長、科研製薬 宝中綬章を受章した。 病理学者としての翠川 退官後は京都市左京区

を強調し、 留学中に、彼の地での経 先生は人体病理学を非常 重きを置いた人体病理学 験に基づいた肉眼所見に に重視し、 特にドイツに 京都大学でも は後年、

研究史を語るとき、まさ 尿病の膵島説を提唱した た。学生への講義で、糖 授の一貫した興味であっ の機能的形態学が翠川教 学的研究を行った。膵島 バンティングとベストの が多い。 子たちは、研究費は十分 という方針をとった。弟 は研究を自由にやらせる 自分で研究テーマを選択 与えられたが、苦心して し、自らの道を開いた人

れ、ラットにジチゾンを田光孝院生に引き継が 刺激を与えた。この仕事 印象的な弁舌で、学生に に先生以外にはできない 消化器内科の澤 びにこれらの細胞を用 葉系細胞の試験管内発が た細胞生物学的な研究が ん、脱がんの研究、なら て、組織培養を用いて間 足達助手を中心とし

鉄ニトリロ酢酸を投与し ラゲンの生化学的研究、 放射線病理学を展開し に東北大教授)は臨床か て腎がんや中皮腫の誘発 た。岡田講師はラットに ヒトがんの分子生物学、 らの院生を指導して、 行われた。福本助手(後

氏が岡山大学教授に栄転 に名大教授)を中心とし くの院生を魅了した、同 に成功し、この仕事は多 した後は、豊国院生(後

コ られた。 発がん性の研究がすすめ て鉄や、酸化ストレスの 学内講演会には絶えず出 外での若い研究者による 先生は定年後も教室内

の熱心さを示していた。 討論をし、感想を述べる光 景は、ドイツ学派由来の、 席し、独特の口調で質問や 包容力と聞き手役として 幅広い病理学者としての

れることができないの 翠川教授を語るとき忘

病理、法医の解剖業

で、自らの意見を絶対に 覚えていて、人間関係で 個々の学生をよく知り、 ることで可能になり、 学生との対話も、 ことはなかった。過激派 さに命がけの対決の様相 込んだ最も苛烈な時期の 対話をした。その一方 に学生と一対一で討論す であったが、遂に屈する の終夜にわたる団交はま たない相手であっ にとっては論理の歯が立 あったので、過激派学生 曲げない根強いところも て立ち向かった。 大学紛争に学生部 積極的 学生と た。 長とし

専門委員を務め、 けて、文部省のアドバイ 科学研究費の審査 に、文部省の評 カ派の岡本道雄総長と共 屈しなかったこと ザーとなり、学術 紛争後、過激派 高次の 審議会 価を受 で、タ 学生に

を貫く人間力である。岡 理的能力、一貫した信念 ず、京都大学全学を巻き 医学部の運営にとどまら 本教授と協力して教室、 は、比類ない実務的、管 年に38億円であった科学 省に働きかけ、1965 部建築計画の推進にも、 究はこの恩恵を受けている 毎年十数%増や、数十億 は、政、官、学界での幅 受けた人は学内にも多 た研究者の発掘に貢献し 舌は、きわめて熱を帯びた かけの際の翠川教授の弁 といってよい。これらの働き で、今日の我が国の科学研 全科学分野に関するもの 研究費の増額は、生物分 側を驚かせた。その科学 などの貢献をして、文部省 円の増額を一挙に勝ち取る 研究費を、2001年には 広い人脈を駆使して大蔵 大きな学術分野への貢献 た。先生の支援に恩恵を におかないものであった。 もので、聞く人を動かさず 野に限ったものではなく、 い。さらにそのもっとも 1580億円にするなど、 大学紛争終結後の医学

センターを建設し、標本 先生の貢献は大きかっ た。1982年総合解剖 図書を移転し、解 教室百年史から多くを引 ただくとともに、病理学 ら多くの資料の提供をい は御令室翠川百合子様か 捧げます。 京都大学医学部を愛

先生に心より追悼の誠を ために献身的に働かれた し、病理学を愛し、その 本稿の執筆にあたって

である。

年)なども、翠川教授の

人柄がよく出ている作品

原猛著「三度目のガン

人に慕われた。哲学者梅 も多く、学内外の多くの

よ、来るならごゆるり

と」(光文社、2001

く、人の面倒を見ること

て温厚で、交流の幅も広

翠川教授の人柄は極め

佐々木和夫先生は

芝

# 福井有公先生を偲ぶ

# 福井有公名誉教授が、 とお許し願いたい。

大阪大学教授

松本

お亡くなりになった。 導を受けた。 私は9年間教室でご指

話くださった。大学院に なしに伺った厚顔無恥の をお訪ねした。事前連絡 が生じた私は、福井先生 の夏である。進路に迷い 私に対して怒りもせずお いしたのは、医学部6年 福井先生に初めてお会

文を書かせていただくこ 博志 「オプションで歩め」

された。結果として大学 院入学を決めた。 究の方向性等を明確に話 入学して驚いたことは、

で、福井先生はフランスで な整理法のHOWTO本 どれよりも優れていた。 が出版されていたが、その 整理されており、当時様々 とIT機器の駆使により 初めて参加した抄読会

喋られていらっしゃった。 ンス語圏の学者と流暢に れており、国際学会でフラ Kのフランス語会話を聞か は通勤の途中、車内でNH たものである。また、先生

私はと言えば、実験の傍

の話となった。水野監督率 コンピュータやインターネッ り、当時普及しつつあった ンフットボールの京大ギャ 文科省等の審議会等で は強い時期にあり、キャプ いる京大ギャングスターズ ディフェンス戦略論に始ま ングスターズのオフェンス、 をされた。趣味のアメリカ なると私を呼んでお話し たが、福井先生は、夕方に 大変お忙しい時期であっ ト、そして最後には研究等

テンの伊藤君やランニングバ

ックで活躍した医学部学

やしたのみで物にはなら が、結果として友達を増 ランス語会話講座に通った ら、妻と関西日仏会館のフ

長を務められるとともに

のと同じである。

生の向井君等が来ていた の戦略の選択、 カンフットボールでギャ を例に話された。研究上 ングスターズが多用して ンを持ちなさいとアメリ いたオフェンスシステム 常に三つのオプショ 進路の選

のファンが皆、監督になる いたのは、阪神タイガース ついてまで対策等を話して 学のメンバー構成や戦略に 大学、法政大学、早稲田大 大学、果ては、関東の日 時台頭しつつあった立命館 私は、関西学院大学や当

たこと ンを忘

賢者、

(県立成

お務め

こともあり、福井先生と 択等についてであ

うプ

要は

もその

る。

私

人病センター総長になら

学問上の話になった

う意味と解釈して を思い出す。大学、学 私が一つの壁にまともに れたのか」と仰っ ぶち当たって進め 難しくなっても残 つを選んで歩む。 話をしている。 自身も若い人達に になった後、滋賀 会、国等の要職を つがあるとして進 してきた三つのも 選択を迫られた際 に「君はオプショ オプションとい の詳細は省くが、

いる。

つめとい

ない時

りの二

それが **の**の一 に用意

たと私は思う。

議論をしていると、自分は を律するカントの哲学と の仕事には、先生の生き方 物理学をまるで理解して 学ぶということであろう human being いいい ありました、quality of 触れて思わず居住まいを たと思います。そのことに るなといった道徳律があっ 物理学の深い理解から出 れることがありました。私 と思います。また、先生と った思いにかられることが 正さなければならないとい よって側にいる人間が折に には、小脳皮質神経回路 いなかったのだと気付かさ れました。その後、 用いて随意運動の の活動を観察する 逆的にブロックす 変化する電位を追 録が可能で、この のの、長期間安定した記 連合野にも研究領 に働くことを明ら 欠かせないこと、 動には大脳-小脳連関が ことにより、熟練した運 動学習に伴って継 序の解明に取り組 ほど空間分解能は 方法です。ユニッ 一次体性感覚野が代償的 次運動野を冷却して可 遊する 歴時的に 方法を れば、 み、運 脳内機 ないも ト記録 かにさ また、 前頭 広範に亘っています。 ます。

察されることを発見され 動がno-go電位と た領域が活動し、 に、前頭連合野の 運動を抑止する際 脳磁場計測装 して観 その活 限られ 以域を広 皮質投射や大脳-小脳連 るように見えます。 然性を持って繋がってい 覧しますと、それらは偶 験でなされた視床-大脳 っており、それは急性実 ましょうか、然るべき必 然の織りなす必然と言い 慢性実験の成果が礎にな 節目節目では偶然が作用 したと思われますが、 研究テーマの変遷は、 の脳磁場の仕事は、 のサルでなされた

関の仕事を根拠にしてお いきますとランビエ絞輪 というように辿って 事に行き着

機能に関する研究を行

置を用い、ヒトの

高次脳

その後、

い、ヒトでも同様に運動

膜

0

事な終活をされていた。 め」という福井先生のお されているとともに、見 忙な人達をお呼びしない その際においても、ご多 退された。これらについ 究者ではなく、その研究 言葉をお送りしたい。 ようにというお言葉を遺 タッチをされた。組織の ても常に固執することな れ、そしてあっさりと勇 の高次脳機能に至るまで 素的な神経過程からヒト 領域は興奮伝導という要 研究領域に留まって微に 在り方をお示しくださっ くより若い人へのバトン 昨年9月急逝された。 う目標があったと思 ″オプション″で歩 細を穿つという研 の科学的理解」 逝く。皆さんに 先生は、一つ ヒ 最近、芝蘭会員の方々へ芝蘭会員または京大医学部事務職員の名前をかたって、個人情報 (住所、電話番号等) を聞き出そ うとする不審な問い合わせの電話があるということを会員の方からご連絡をいただいております。芝蘭会とは全く関係がござい ませんので、くれぐれもご注意くださいますようお願いいたします。 なお、芝蘭会では会員の方から住所変更等のご連絡がない限り、事務局からはお問い合せはいたしておりません。ご不審な

# 置き、 並み居る諸先生方を差 福井先生の追悼 和夫先生を偲ぶ デメリット、法医学の研 直接進学するメリットと

ることであった。その整理 物をお一人で処理されてい

の仕方はお見事であった。

明をされ、エライところに 読解とフランス法制度の説

なかった。

当時は法医学会の理事

人ったと不勉強な私は思っ

1ボックス1課題の原則

がいないこと、電話や郵便教室に秘書等の事務職員

の人工妊娠中絶や脳死の

釈での鮮やかなフランス語 法的課題に関する論文解

# 昭和38年卒 IIIП 三郎

発展に尽力されました。

神

質神経回路の全貌を明ら

釈を巡って、佐々木先生と

Eccles教授との間で、三

では、フィールド電位の解 かにされました。その研究 て、日本神経科学学会の

教授らと共にフィールド

れて、3年間、J.C.Eccles

俟たないでありましょう。

するものであったかは言を

電位の解析により小脳皮

ご推薦を頂いて、当時、ニュ

私は、1970年に先生の

ロー校におられたEccles

-ヨーク州立大学バッファ

教授の研究室にお世話に

にあったキャンベラに招

Research編集委員とし ンバー、Neuroscience

医学研究科長(併任)に就 本学医学部長、同大学院 任、全国に先駆けて本学 1991年12月16日付で 県武庫郡精道村(現芦屋 日に肺炎でご逝去されま した(享年87)。 先生は1929年兵庫

医学部の大学院重点化、い わゆる「大学院大学化 の自分の生き方を律する うに入ってきて、それ以後 だ、それは頭にしみ込むよ めてドイツ語を学び、カン 学されました。高校で初 年に京都大学医学部に入 松江高校を経て、1950 市)のお生まれで、旧制の トの哲学書を原語で読ん

崎国立共同研究機構生理 崎国立共同研究機構生 西医科大学客員教授、岡 理研究施設長(併任)、関 学研究所長、同研究機構 学研究所教授、同統合生 年に本学を定年退官され 機構長をお務めになり、 推進されました。1993 1998年には「中枢神経 (名誉教授)、退官後、岡 うです。 の研究に参加していたそ 間は物理学教室で過ご 学だけで、それ以外の時 のは大谷卓造教授の生理 するものの、講義を聴く 部では、実習は必ず出席 があります。先生は、医学 ものとなった、と伺ったこと 講義を聴き実験物理 した。 いで尽力されました。

年の公務における功労に 対して、瑞宝重光章を授 理系の大学院医学研究 た。大学院卒業後は、師の 卓造教授に師事されまし 科博士課程に進学、大谷 1954年に卒業後、生 電図学会評議員、

研究機関(IBRO)メ

により、

局所の大脳皮質

その先には、 ての研究をされま

的に脳波を記録すること に電極を埋め込み、差動 脳皮質領野の表層と深層 発されました。様々な大

うです。

いずれも、Eccles教授

ある、そういう意味であの

ない、全てconsistentで する結果は一つも出てい が、今に至るまであれに反 推論に推論を重ねてある 皮質神経回路の仕事は、 対面の私に向かって、小脳 なりましたが、教授は初

の時、Eccles教授が佐々 と話されました。私は、そ 仕事は完璧なものである

木先生に対して如何に

りません。

先生は、その後、フィ ルド電位の解析という

ました。

れているように思われてな

てくる洞察力が注ぎ込ま

で激しい論争をされたそ storyの根幹に関わること 位か抑制性電位かという 度、一つの波形が興奮性電

を受賞、2005年には長 究」により日本学士院賞 系の統合機能に関する研 専門会員、日本生

与され、2017年7月7 張し、J.C.Eccles教授と その後、1963年から3 助手、助教授を務められ、 教授と共同研究をされま あるマックスプランク脳研 共同研究を、1968年か ストラリア国立大学に出 年間キャンベラにあるオー 部生理学教室第一講座の 究所に出張し、R.Hassler ら1年半フランクフルトに 王宰される京都大学医学

ら 0) 神 先生の研究は、単一

ニューロンについて上位中 解析により明らかにした 眼運動ニューロンの入出 枢からの影響と適応現象 経線維の興奮膜(有髄 力の詳細を細胞内記録の (accommodation)、動 イオン機構の研究か 始まり、ネコ脊髄運 経線維ランビエ絞輪)

(学院の再開に心血注ぐ

会評議員、日本脳波筋 動では、日本神経科学会 述べた通りです。学会活 大学院の再開に心血を注 批判の対象とされていた 施設)に就任され、痛烈な 紛争の最中に40歳で教授 (医学部附属脳神経研究 その後の経歴は冒頭に 帰国後、いわゆる大学 理学 玉 現象や動眼ニューロンの仕研究が続きました。適応 い、研究費もなければ、研 当時の日本は、経済的には うが、その研究がなされた 想像もつかないことでしょ ます。現在の研究者には 事は今でもよく引用され てきて実験装置を組み立 という無い無い尽くしの中 究に関する情報も乏しい 貧しい国で、研究設備はな で、自分達で真空管を買っ

てて、なされた研究です。 受賞者ですから、論争は であったか、どれ程自分の どれだけ勇気のいること に認める碩学でノーベル賞 キャンベラの総帥、自他共 理学のメッカになっていた 半ばの若輩、片や神経生 なったそうです。片や30代 間は非常に険しい関係に 済まないので、一時二人の た、然し、科学上の論争と が佐々木先生の解釈を受 は云っても、それだけでは け入れることで決着をみ

その後、別天地の研究環境 るかということを知りま 深い信頼を寄せておられ

知識と洞察力に自信を要 るところの自己が自己に ントのいう理性が要求す が、それ以上にquality of 教授は、京都に来られた 究者の一人であるStrata て嘘をつくな、不正をす 命ずる絶対的な命令とし た。先生の心の中には human beingというい ことをいろいろと学んだ 佐々木からscientificな 折、初対面の私に、自分は とを学んだと云われまし した。その仕事の共同研

> 電位を記録する方法を開 の霊長類からフィールド た実験に移られ、覚醒下 を基盤にしてサルを使っ 射を調べ、その研究成果 連関、視床-大脳皮質投 手法を用いて小脳-大脳

らかにし、さらに 場が記録されるこ 抑制に先行してno-go磁

精神集

とを明

頭部に現れる母波 中時の脳活動に伴って前

につい

した。

て、

謹んで御冥福をお

申し上げます。

る感謝の気持ちを込め とご指導に対する深甚な 先生の偉業に対する尊敬 最後になりましたが、 きま 

ことがありましたら、芝蘭会事務局までご連絡ください。 

芝蘭会 事務局 TEL: 075-751-2713 FAX: 075-752-4015 を講じないことと同じで と諭すことは、何も対策

える影響についても考慮し を害することが患者に与 であるならば、自らの健康 識しているはずです。そう えることを知識として認 思決定や行動に影響を与 きな精神的ストレスが、意

なければなりません。これ

の注意深さに依存するこ えることです。一人ひとり

とは危険であり、管理者

になる。朝から外来診療

に携わっていても、終了す

を求めて来られるので、血 も、大学病院レベルの診療

さい、という案内をするし

液検査や画像診断が必要

側が次から注意しなさい、

生を避けることができな

はずです。睡眠不足や大

くる。一般的な疾患といって と、予約患者から苦情が 診療することになる。する

ら、当日、予約なしで来院 後しか空いていない。だか まってしまっていて、3か月

して、ずっと待っていてくだ

以外の方よりも知っている なくとも医療者や科学者 れるのか、ということを、少 の意識レベルが何に影響さ

いという事実を前提に考

間である限り、エラーの発

理の上で大切なことは、人

ことになります。エラー管 高すぎ、後者を選択する 選択することはリスクが 的な医療の現場で前者を ずれかです。ただし、標準

ると、予約患者の合間に るのに、予約外で来院され

くる。しかし、予約枠が埋

の診療科宛に予約依頼が や病院から京大病院のそ いました。地域の診療所 当者は別の悩みを抱えて 事務でした。地域連携担 る医師と地域連携担当の 参加したのは、依頼者であ

医療者や科学者は、脳

る。断れない。予約の患者

医師には応召義務があ 診療を求めてやってくる。

だけでも精一杯の状況であ

と一般的な疾患の患者が

も、毎日予約なしで、次々

大学病院の外来といって

そりと)立ち上げました。

医療安全管理部 教授医学部附属病院

由美

流れは正しい方向です。

サービスを提供したいとい

なければならない。それが 者からの苦情にも対応し 増える。待たされている患 ないので、余計に業務量が ある。看護師も事務もい るのは、夜の7時や8時で

得ることにしました。外来 する対象について合意を 患者の中で優先的に診療

医師の働き方改革という

エラー管理の文脈では、

医師の疲労を減らすこと

能性が高まります。

のです。好ましい結果につ

処への考え方は二通りある

つまり、本来、エラーの対

管理を徹底するのかのい

ラーを許容するか、エラー

ながるかもしれないのでエ

1.ヒューマンエラーの管理

は、患者安全に直結する

とではありません。エラー

うにエラーは、時に好まし う言葉があります。コンピ てしまう生き物です。ヒュ は単純なエラーを起こし 通りに動くものと違い、人 ュータのようにプログラム まうと患者が害を被る可 エラーの発生を許してし さえなり得ます。このよ まったことがきっかけであ の発見は、培養実験時に誤 功につながるようなこと かりと間違えたことが成 医療サービス提供の場で、 い結果を生むものですが、 くならばセレンディピテ 結果として成功に結び付 り、エラーがあっても、それ って雑菌を混入させてし もあり得ます。ペニシリン を指す言葉であって、うっ に望ましくなかったもの ーマンエラーとは、結果的 ィと呼ばれ、賞賛の対象に にひとがうまく対応し、 患者安全と労務管理

ルコール濃度0.8とは、ほ す。生物として当然のこと たり、ミスを犯したりしま ま、休息や睡眠をとらない 呼び出しに応じて、そのま き続けたり、オンコールの します。当直時間帯も働 たり、理性が失われたり 態であり、怒りっぽくなっ ろ酔いから酩酊初期の状 ると言われます。血中ア 判断力、実行力に相当す アルコール濃度0.%と同じ 理できるはずはありませ ような環境で、エラーを管 挟むだけで、働き続ける 短時間の休憩をわずかに てもよいと思います。24時 24時間の断眠は、血中

ということをもっと意識し るというように、発想を転 手段でその目的を達成す ような手段ではなく、別の いう提案です。 換したらどうだろうか、と 発生の危険性のあるよう

# 2.労務管理の考え方

ました。話の内容は次のよ 項だということが分かり 観点から取り組むべき事 師が私のところにやってき 3年程前に、数名の若い医 くと、これは、患者安全の 当者ではありません。た い、と相談に来たのです。 勤務の状況を変えてほし としての私に、自分たちの ました。医療安全管理者 だ、彼ら彼女らの話を聴 私自身は、労務管理の担 ひとつの例を挙げます。 た。業務負担を軽減する 携の観点からも探りまし のかということを地域連 がなぜそれほどまでに多い ためのプロジェクトを(こっ りません。予約外の患者

分析することにしました。 1日の患者数と予約の現 私たちはそこで現状を

を増やすか、業務量を減 状を変えるには、医師数 き受けてくれました。現 なると考え、若い医師は引 かの予備調査です。調査 患者数をどこに設定する らいました。適正な外来 れは未来を変えることに の負担はかけましたが、こ すかのいずれかしかあ

うな状態では、自分たちは 者の診療にかかる。このよ いつかミスをする。何とか

を求めました。そして、1

環器内科助教が

iPS 細胞を用 **个整脈疾患におけ** 

医長にも意向を尋ね、京

大病院にとっての顧客は紹

得るには、戦略が必要にな 病院の方針として承認を 的ではないだろう、という るが、来院された患者さん ります。まず、周知期間 要がある、となりました。 療を断る方針を立てる必 ことになり、病院として診 来院患者を断る必要があ を得ました。業務量を減 はない、という共通の認識 介状がある患者であり、い わゆるコモンディジーズで にその場で断るのは現実

機関宛に、予約以外の診 リストを作って、その医療 報提供をした医療機関の 療を今後断る方針である 必要で、これについては、過 去にその診療科に診療情 基づいて現状を分析した

ことを伝えることにしま 診療情報提供書があり、 になりました。その代り、 送業務を引き受けること す。地域連携室が文書発 間でも広まっていたためで 案内が地域の医療機関の ので、予約なしで当日診て もらってください、という した。予約しても先になる テムに移行できます。 しければ持続可能なシス っています。方向性が正 る診療科は3診療科に至 す。現在、完全予約制をと 的な考察が必要になりま 現状はどのように乖離し められているのか、また、 視点で、私たちは何を求 だけではなく、より広い 組むときには、その物事 労働時間を減らしてほし とが挙げられます。単に、 念に沿う方針であったこ したこと、京大病院の理 ているのか、という客観 た。ひとつの物事に取り れば成功しませんでし て、複数職種で知恵を出 こと、実現可能性を求め い、という内容だけであ

のために空けておく、つま には、予約枠を予約患者 があり、診療科の合意を 科に徹底してもらう必要 り、再来患者で枠を埋めな 要があります。そのため できる体制を構築する必 場合には、スムーズに予約 医療機関が予約を取る いという基本方針を診療 予約枠数の設定は予備 することは、合理的な対 生まれます。業務を減ら 3.おわりに るか、頑張らないかとい 応ではありません。頑張 たちも頑張った、と回答 あったときに、昔は自分 して欲しいという訴えが れば、当然ながら軋轢が する中で適応しようとす の世界であれ、常に変化 医療の世界であれ、何

能性についての見通しを立 には、方針変更後、しばら ててから、当該診療科は 力を求めました。実現可 く苦情も増えるだろうか た、患者相談窓口の職員 調査で試算しました。ま ら、対応してほしい、と協 ります。 で、見えてくるもの 共通の目標とすること きませんが、患者安全を 題で、一筋縄では解決で う二者択一でなく、別の ことは必要と思います。 万法を探って解決を図る 労務管理は難しい

況に陥っていました。 まって、予約が取れない状 枠を再来患者で埋めてし されていたのですが、その 介患者用の予約枠は設定 かありませんでした。紹

> 年間の準備期間を経て、 その診療科は完全予約制 成功したのは、データに い影響を与えたと思いま は、入院患者の診療にもよ 針変更は、外来患者に対 に移行しました。一連の方 このプロジェクト

貢献することを目的とし 究の向上および成果の普 S細胞および体性幹細胞 院でのiPS細胞、 芝蘭会館で開催しまし 細胞・再生医学研究会を て2009年11月に発足 などを用いた再生医学研 た。同研究会は、京大病

也病院長の開会挨拶の しました。 研究会では、稲垣

京大病院循

質疑に答える 中内スタンフォード大学教授

第17回京大病院iPS細胞·再生医学研究会

ン科

准教授が

オ 3D プリンタに

病院リハビリテ

また、池口良輔

について一般講演 効評価、新規治療法

研究部門特定拠点 細胞研究所増殖分 化機構

成」、今村恵子

究所教授が「i

川口義弥iPS

胞を用いた腸管組

を用いた末梢神経 製した Bio 3D Co

第17回京大病院iPS 院(以下、京大病院)は、 京都大学医学部附属病 経疾患研究」と題 入りました。 成果について熱心 それぞれ学術講 い、参加者は最新 iPS 細胞を用 演 題して、助教が 0) 開きっている。

題した特別講演を complementation: が [Interspecies blastocyst スタンフォード大学教授 引き続き、中内啓光 る根治的糖尿病治 細胞由来膵島の移 した。講演後の質 行いまと i P S





芝蘭会費の納入方法として、「銀行口座等からの自動引き落とし」を 平成17年度より採用させていただいております。 会費納入のお手間が大幅に省かれ、また、会費の二重払いの防止にも つながります。ぜひ、ご利用いただきたくお願い申しあげます。手続きに ついては芝蘭会事務局までお問い合わせください。
 手続き等については、
 芝蘭会事務局
 (TELO75-751-2713 FAXO75-252-4015)

故会員への黙祷が行わ の司会のもと、開会と物

れ、続いて静岡支部会長

が開催されました。

総会は坂本喜三郎先生

支部総会ならびに講演会

話は講演へと移りま

て平成29年度芝蘭会静岡

グランティエールブケト

岡

平成29年10 月28日(土)、

カイ4階

「ワルツ」に

先生による諸報告があ

最後に次回の平成30

でいらっしゃる島本光臣

となりました。

実施に向けての重症心

それから京都大学医学

が行われて終了する運び 年度総会についての確認

話しになりました。

のでした。この講演の座

を行ってきた施設が近隣

にある状況で、

患者を集

て重症心不全治療の手術

長は坂本先生が担当さ

湊谷先生の略歴をお

演題は「京都大学心臓血 講演会が始まりました。 湊谷謙司先生による学術 部心臓血管外科学教授の

など、京大病院に先駆け 院や国立循環器センター ておられました。阪大病 いことも課題として挙げ 不全の症例数が集まらな

島

根

官外科の現況」というも

現状についてお話しにな

血管手術の症例数を伸ば

尿大医学部と附属病院の

湊谷先生は講演の前に

学病院がそれぞれの強み とです。また、近隣の大 めるのは難しいというこ

した。総会では、中川正

久先生の開会の辞に始ま

会計報告や役員

の選

生による「呼吸器外科手

# 心臓血管外科の現況紹介



ここでブランド力とな

報

発信を挙げておられまし して研究成果の世界への

ンドを確立すること、そ の京大心臓血管外科の目 要があるとおっしゃいま ではないとはいえ、 そうです。症例数が全て 京大心臓血管外科のブラ 上、地域医療への貢献、 標として、手術成績の向 を集めることを目指す必 かの分野に特化して患者 した。先生は、これから 何ら また、 動脈手術や David 手

まれている新しい研究で

いるそうです。 ることによる、心臓再生 科ではiPS細胞を中心 術などがあるそうです。 医療の研究が進められて 心臓組織シートを移植す とした再生医療の研究が ちの一つとして、ヒト われていて、それらの PS細胞から作られた 京大心臟血管外 移し、懇親会が行われま 話題となり、臨床と研究 さが垣間見られました。 を両立させることの難し した。懇親会では、多く 講演終了後には会場を

最後に、先生が取り組

間には、大学院の制度が き起こされる炎症の研究 発、人工血管によって引 臓保護カニューレの開 についてお話し下さいま 求、脱細胞再生医療、 した。講演後の質問の時 なりましたが、やがて会 で進み、宴もたけなわと 気あいあいとした雰囲気 となりました。 は惜しまれながらも解散 だきました。会は終始和 な時間を過ごさせていた とても有意義 支部だより

症例数は伸び悩んでいる

動脈の手術、

特に胸腹部

している中、

京大病院

報告を終わらせていただ 総会・講演会・懇親会の 成29年度芝蘭会静岡支部 に感謝の意を持って、平 にお招きいただいたこと このような素晴らしい会 最後になりましたが

きます。

にも話しかけてくださ の先生方が我々雑誌部員 (文責:2回生 秋宗俊久)

ある心臓血管外科領域で り、ためになる話も多々

# りました。研究棟の増設 出てしまうようです。他 とのことです。人手不足 手の少なさが挙げられる の課題の一つとして、人 大の心臓血管外科の現在 金への寄附を募って、お 校友会・教育研究支援基 てお話しになり、最後に や病棟の改築などについ によって、医師達が疲弊 湊谷先生によると、京 目標とする心臓移植 様々な業務に支障が

平成29年11

司会のもと、平成29年度 雲にて、平成29年度芝蘭 島根支部総会が行われま れました。 会島根支部総会が開催さ ニューウェルシティー 小坂真二先生

月8日(土)、 学部の現状についての報 京都大学医学研究科、 総会について話し合わ 告と続きました。 伊達洋至先生による 次回芝蘭会島根支部

講座呼吸器外科学教授で れました。京都大学大学 医学研究科器官外科学 らっしゃる伊達洋至先 続いて特別講演が行わ クがあったため、それを

伊達教授の講演が行われた島根支部総会 ました。VAL-MAPと でした。 う新しい方法を開発され と題した講演でした。伊 鏡、3D画像を使い、 療を行っているそうで 的治療を含む集学的 行肺癌については外科 いては低侵襲手術、 は、主に肺癌の外科治療 達洋至先生による講演 して、VAL-MAPと す。低侵襲手術について と肺移植についての講演 **个足なく切除する方法と** は、非常に小さな癌を過 まず、 バーチャル気管支 早期肺癌につ

ング針を肺実質に刺した 胸や空気塞栓などのリス だそうです。これまでの 明らかにするという方法 とられてきましたが、気 したりするという方法 位置同定法では、マーキ 色素を注射針で注

ことで目標病変の位置を 術の最前線を目指して\_ 数の目標気管支からイン ジゴカルミンを注入する うです。さらに、サルベ 肺癌については、術前に 常に細かい手術が可能に 取り除いたのち、健康な に取り出して、癌病変を これは、一旦片肺を体外 移植も紹介されました。 化学放射線療法を行って 機を近づけると音が鳴る 部分の肺を体内に戻すと から手術を行っているそ なるそうです。次に進行 ットを用いることで、 れているそうです。ロボ ボット支援手術も進めら 紹介されました。またロ 測切除ガイドを提供する する方法も紹介されまし 部近くに気管支鏡で留置 タグマーカーを病変の深 いう方法です。 微小結節の位置同定と予 の脱気変形肺に対応した 雅定技術に基づく、 の技術として、 た。さらに、 Marking という探知 ジ手術としての自家肺 ーチャルマーキングを 現在開発中 臓器変形 術中

非

の発表がありました。 **个足している現状に対し 種するためのドナー肺が** 続いて肺移植について

【近畿北】 平成29年11月

科長・外科学講座 院元病院長の竹内秀雄先 大学医学部長・医学研究 のあいさつの後、京都 はじめに、 公立豊岡病 肝

が開催されました。 度芝蘭会近畿北支部総会 立豊岡病院にて平成29年 26 日 日 (日)、 と関係病院との連 れました。 都大学の医師育成 日本の医師

れに加え女性医師 といわれています。そ 先進国と比べて少ない は他の の割合

強調し、

講演を締めくく

行うことが重要であると

右左反転移植筑

術とは、

反転してレ

シピエ

移植す

闌会近畿北支部総会 菊证

るそうです。 でいる部分を切除し十分 策を主にとっているそう 植手術式という二つの対 ている部分だけを移植す です。まずマージナルド の利用と新しい生体肺移 に肺としての役割を果し ナー肺の利用とは、傷ん 新しい生体肺移植手術 マージナルドナー るという世界初 比較的大きな右下葉を摘 ントに左肺として は、下葉だけを切除し上

自己肺温存移

植術と

ました。

己肺温存移植術、そして これら二つを組み合わせ 式は右左反転移植術、 た術式について説明され

公 膵・移植外科学教授の上 一先生によ

題された特別講演が行わ る、「京 渡しと の変遷

その後、学部での教育

その後会場を移し、

懇

が行われ閉会となりまし

都大学医学部の現状報告 後再び上本先生による京 上本教授の講演が行われた北近畿支部総

会 いて触れられ、日本を取 り巻く医療現場の現状に が100時間近くあるこ 間あたりの平均労働時間 2010年の時点で20% であるのに対し日本では も他の先進国が半数ほど 無などといった問題につ ケート調査を元に、1週 労働環境についてのアン **未満です。また外科医の** いて説明されました。 当直明けの手術の有

る進行のもと事業報告

ある西島直城先生によ

いさつの後、前支部長で

聡一先生による支部長あ れました。病院長の三輪

その後支部総会が行

れました。

と会計報告が行わ

れま

した。そして人事連絡の

後も長期的な医師教育を ションなどを通して卒業 連病院と連携した後期研 外科セミナーの開催、関 の紹介へと続き、臓器別 外科交流センターの活動 第一目的とした京都大学 加への対応が必要だとお 期間を増やすことが義務 制度やカリキュラムの変 修医・上級医のローテー して若い外科医の指導を っしゃっていました。そ 指導医や学生の負担の増 づけられたことによる、 た。学部での臨床実習の スについて話されまし 化、卒業後のキャリアパ 時と今の学生生活の違い 貴重なお話を伺うことが や病院現場の様子などの 話しかけてくださり、当 学生にも沢山の先生方が 親会が行われました。会 告を終わらせていただき に参加する機会をいただ 惜しまれながらも解散と できました。そして会は ている様子でした。我々 多くの先生方が楽しまれ は賑やかな雰囲気の中、 って近畿北支部総会の報 いたことに感謝の意をも このような素晴らしい会 なりました。 最後になりましたが、

ます。 (文責:3回生 西垣利彦)

ことについてお話しさ た。最後に肺移植を安全 れ、講演は締めくくられ チーム医療が大切である 科や部署が協力して行う に行うには、様々な診療 ました。楽しかった会の 時間はあっという間に過 非常に有意義な会となり 会の辞をもって、惜しま ぎ、並河徹先生による閉 れながらも解散となりま お話しさせていただき、

に感謝いたしまして、芝 蘭会島根支部総会の報告 にお招きいただいたこと このような素晴らしい会 した。 最後になりましたが、

(文責:3回生 小野譲騎)

うという術式です 葉の機能を温存し いることを報告さ 際基準を大きく上 症例数は日本で最も多 レシピエントに移植を行 また京都大学の肺移植 移植後の生存率が国 たまま 回って のもと、錦織優先生によ 会は徳永敦夫先生の司会 会が行われました。懇親 講演会終了後には懇親

告が行われ、また我々雑 りました。懇親会中は先 る開会の辞によって始ま 誌部員も多くの先生方と 生方の自己紹介や近況報

を終えさせていただきま

|               |    |    |    | 人  | 異        | 動  |    |    |                                       |  |  |
|---------------|----|----|----|--|----------|----|----|----|---------------------------------------|--|--|
| 発令年月日 氏名 異動内容 |    |    |    |  | 発令年月日    | 氏  | 名  |    | 異動内容                                  |  |  |
| H29.12.31     | 野口 | 倫生 | 辞任 | メディカルイノベーションセンターTK - NASH 特定准教授より<br>国立循環器病研究センター室長へ | H30.1.31 | 青山 | 晃博 | 辞任 | 呼吸器外科学 講師より<br>神戸市医療センター中央市民病院 呼吸器外科へ |  |  |
| H30.1.1       | 片岡 | 大治 | 採用 | 国立循環器病センター脳神経外科医長より<br>脳神経外科学講師へ                     |          |    |    |    |                                       |  |  |

|       |           |                     |            |    | 会  | 信員        | 報 (敬称略)           |     |       |           |                   |     |
|-------|-----------|---------------------|------------|----|----|-----------|-------------------|-----|-------|-----------|-------------------|-----|
| 岸陽一   | 昭和19年卒    | 平成 30 年 3 月 22 日 ご  | ご逝去        | 森  | 忠三 | 昭和 27 年卒  | 平成 30 年 1 月 13 日  | ご逝去 | 磯辺 善成 | 昭和 41 年卒  | 平成30年2月9日         | ご逝去 |
| 福井 實  | 昭和19年薬卒   | 平成 30 年 1 月 27 日 ご  | <b>ご逝去</b> | 加藤 | 幹夫 | 昭和 28 年卒  | 平成 30 年 2 月 19 日  | ご逝去 | 奥村 秀雄 | 昭和 42 年卒  | 平成 30 年 3 月 13 日  | ご逝去 |
| 池田 正敏 | 昭和 22 年卒  | 平成30年2月5日 ご         | "逝去        | 泉  | 隆雄 | 昭和 29 年卒  | 平成 29 年 8 月 12 日  | ご逝去 | 伊藤 坦  | 昭和 46 年卒  | 平成 29 年 12 月 17 日 | ご逝去 |
| 大塚 哲也 | 昭和 22 年卒  | 平成 30 年 1 月 22 日 ご  | <b>ご逝去</b> | 栢原 | 熒一 | 昭和 32 年卒  | 平成 29 年 12 月 31 日 | ご逝去 | 通堂 満  | 昭和 60 年院卒 | 平成 27 年 6 月 17 日  | ご逝去 |
| 小山 英一 | 昭和 22 年卒  | 平成30年2月9日 こ         | <b>ご逝去</b> | 錦織 | 劭  | 昭和 32 年卒  | 平成30年2月6日         | ご逝去 | 堀端 建吾 | 教室会員 医化学  | 平成 15 年 12 月      | ご逝去 |
| 水口準之助 | 昭和 23 年卒  | 平成 29 年 11 月 14 日 ご | <b>ご逝去</b> | 辻  | 宏  | 昭和 33 年卒  | 平成 29 年 12 月 20 日 | ご逝去 | 寺元 薫  | 教室会員 公衛   | 平成30年2月8日         | ご逝去 |
| 上村 俊夫 | 昭和 24 年卒  | 平成 30 年 1 月 16 日 ご  | ご逝去        | 稲田 | 雅美 | 昭和 34 年卒  | 平成 29 年 10 月 22 日 | ご逝去 | 西田 一彦 | 教室会員 内科 3 | 平成 30 年 1 月 13 日  | ご逝去 |
| 長谷川慧介 | 昭和 24 年卒  | 平成 29 年 11 月 17 日 ご | ご逝去        | 三田 | 幸範 | 昭和 34 年薬卒 | 平成 30 年 1 月 20 日  | ご逝去 | 藤田龍五郎 | 教室会員 外科   | 平成 29 年 11 月 9 日  | ご逝去 |
| 溝淵普二生 | 昭和 25 年専卒 | 平成 29 年 11 月 8 日 ご  | ご逝去        | 豊田 | _  | 昭和 36 年卒  |                   | ご逝去 | 大月裕之介 | 教室会員 耳鼻科  | 平成 30 年 1 月 14 日  | ご逝去 |
| 武田 温雄 | 昭和 26 年卒  | 平成 29 年 12 月 12 日 ご | <b>ご逝去</b> | 福嶋 | 正和 | 昭和 36 年卒  |                   | ご逝去 | 今井 弘行 | 教室会員 胸部研  | 平成 28 年 6 月 15 日  | ご逝去 |
| 津田 昭雄 | 昭和 26 年卒  | 平成 29 年 8 月 8 日 ご   | <b>ご逝去</b> | 松倉 | 茂  | 昭和 36 年卒  | 平成 29 年 12 月 12 日 | ご逝去 | 真鍋 貴  | 教室会員 胸部研  | 平成 26 年 3 月       | ご逝去 |
| 胡 治邦  | 昭和 27 年卒  | 平成 30 年 1 月 3 日 ご   | で逝去        | 岩瀬 | 禎章 | 昭和 40 年卒  | 平成28年9月5日         | ご逝去 |       |           |                   |     |

|    | 氏 名                     | 現 所 属                           | 論文投稿時の身分                        | 論 文 題 目   |
|----|-------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|
| 誤: | でにし きとし<br><b>小西 聡史</b> | 医学研究科<br>(呼吸器内科学分野)<br>客員研究員    | 博士課程 医学専攻<br>(麻酔科学分野)<br>4回生    | Directed Induction of Functional Multi-ciliated<br>Cells in Proximal Airway Epithelial Spheroids<br>from Human Pluripotent Stem Cells |
|    | しみず さとし<br><b>清水 覚司</b> | 博士課程(医学専攻)<br>(循環器内科学分野)<br>4回生 | 博士課程(医学専攻)<br>(循環器内科学分野)<br>3回生 | Initial Surgical Versus Conservative<br>Strategies in Patients With<br>Asymptomatic Severe Aortic Stenosis                            |



|    | 氏 名                     | 現 所 属                        | 論文投稿時の身分                       | 論 文 題 目   |  |  |
|----|-------------------------|------------------------------|--------------------------------|---|--|--|
| 正: | 小西 聡史                   | 医学研究科<br>(呼吸器内科学分野)<br>客員研究員 | 博士課程 医学専攻<br>(呼吸器内科学分野)<br>4回生 | Directed Induction of Functional Multi-ciliated<br>Cells in Proximal Airway Epithelial Spheroids<br>from Human Pluripotent Stem Cells                               |  |  |
|    | しみず さとし<br><b>清水 覚司</b> | 医学部附属病院<br>(麻酔科)<br>特定病院助教   | 博士課程 医学専攻<br>(麻酔科学分野)<br>4回生   | Differential Involvement of the NpI4 Zinc<br>Finger Domains of SHARPIN and HOIL-1L in<br>Linear Ubiquitin Chain Assembly Complex-<br>Mediated Cell Death Protection |  |  |

# 訂正とお詫び

芝蘭会報第193号(前号)1頁の「秋の叙勲」 の氏名と卒業年、3頁の「平成28年京都大学 医学部若手研究者優秀論文賞 KMYIA 受賞者」 に誤りがありました。

会員ならびに関係者の皆様には、大変ご迷 惑をおかけいたしました。

謹んでお詫びするとともに、次のとおり訂正 いたします。

# ・1頁の「秋の叙勲」

誤:「長尾 貞夫(昭 39 年卒)」

正:「長尾 卓夫(昭47年卒)」

# ・3頁の「平成 28 年京都大学医学部 若手研究者優秀論文賞 KMYIA 受賞者」

←正:左記表組太文字部

古都の風情に彩られた空間で、みなさまのお集り、ご宿泊をサポートさせていただきます。 学会やシンポジウムへのご出席はじめ、同窓会などのお集まりや、京都観光のご宿泊に、 芝蘭会館別館[国際交流会館]をご利用ください。



|                          |       |      | STATE OF THE PARTY |
|--------------------------|-------|------|--|
| 客室ご利用料金                  | (税込)  |      |  |
| シングル                     | (18室) | 定員1  | 6,800円   |
| ツイン                      | (3室)  | 定員2  | 12,700円 (シングルユース10,400円)   |
| デラックスツイン                 | (1室)  | 定員2  | 15,000円 (シングルユース12,700円)   |
| ●宿泊室(全室注<br>(wifi #,利用可) |       | バス、ト | イレ、テレビ、冷蔵庫、インターネットジャック付き   |

- www.dev/Buj/Cys。

  ◆芝蘭会会員(会費納付者)は宿泊利用料金を、1,000円割引させていただきます。

  ◆チェックインタイムは午後3時、チェックアウトタイムは午前10時となっております。

  ◆キャンセルについては、3日前より宿泊利用料金の半額を請求させていただきます。

| 研修室・会議室 | 室ご利用料金(和 | <b>兑込</b> ) |             |             |         |
|---------|----------|-------------|-------------|-------------|---------|
|         | ご利用時間    | 9:00~12:00  | 13:00~17:00 | 18:00~22:00 | 超過料金    |
| 研修室1・2  | 定員 60 名  | 15,000 円    | 18,400 円    | 18,400 円    | 4,600 円 |
| 会議室 B1  | 定員 20 名  | 9,800 円     | 11,500 円    | 11,500 円    | 3,000円  |
| 和 室1・2  | 定員 10 名  | 6,300 円     | 8,000 円     | 8,000 円     | 2,300 円 |
|         |          |             |             |             |         |



一般社団法人 芝 蘭 会 (しらんかい)

# 芝蘭会館別館 〒606-8302 京都市左京区吉田牛の宮町 11-1

Tel. 075-771-0958 Fax. 075-752-4015 E-mail: info@shirankai.or.jp http://www.shirankai.or.jp

レストラン [しらん] Tel. 075-752-1027

# 芝蘭会会員名簿(73回・2018年版)の刊行について

# 会員登録の確認調査(7月送付予定)にご協力ください

拝啓 会員の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本年は芝蘭会会員名簿の刊行の年にあたり、平成30年11月末の刊行に向けて編集作 業を進めております。

今回の会員名簿の作成は、平成30年7月、会員へ調査書類発送、10月、会員データ修正、11 月末名簿発行を予定しております。

つきましては、今回、会員の皆さまのところへ「会員名簿調査確認書」(郵便はがき)及び、会 員名簿購入申込用紙等をお送りさせていただきます。(7月送付予定)

会員名簿は、芝蘭会活動を活発化し、また、会員相互の親睦と交流を深めるためには、必要 不可欠のものであり、名簿掲載内容の充実が求められます。それには、会員の皆さまのご支援、 ご協力がぜひとも必要であります。

また、芝蘭会会員名簿の販売は芝蘭会員、賛助会員及び広告掲載企業に限らせていただいて おります。会員間の交流を図るためにも名簿掲載にご協力いただき、前記「会員名簿調査確認書」 を、必ず芝蘭会事務局へご返送くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成 30 年 4 月

一般社団法人 芝蘭会 会長上本 伸二

# 管理課長 森 勝二事務局長 山田 均芝蘭会事務局

会報編集委員会 村由美、阿山田圭介、斎藤信雄、 高折晃史 部園中

部 村

芝蘭会報は、会員の皆様の情報交換・意見発表の場であり ます。支部活動、クラス会、会員の著書の紹介(自薦・他薦) 及び医学・医療等に関するご意見等を寄稿ください。 なお、原稿の採用及び掲載時期については、編集委員会で決 めさせていただきます。

芝蘭会報 編集委員会

# ●事務局から●

平成17年4月からの「個人情報保護法」の全面施 行により、個人情報の取り扱いに厳しい制約が課せ られました。つきましては会員の連絡先等のお問い合 わせは、必要理由等を明記の上、郵便または FAX により事務局までご送付ください。電話でのお問い合 わせにはお答え致しかねますのでご了承ください。 (FAX 075-752-4015)